

11. 2002年度 e-ケアタウンプロジェクト パンフレット

プロジェクト全体説明(1/4)

e-CARE
Fujisawa



2002年、藤沢市は、総務省の「e!プロジェクト」(IT国家の姿を国民に、そして世界にわかりやすく示すために計画されました)の介護福祉分野における実証実験の実施地域として選ばれ、**e-ケアタウンプロジェクト**を進めていくことになりました。
e-ケアタウンプロジェクトは、藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本の4組織で構成される、**e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム**が実施していきます。
市民のみならずのご理解、ご協力を心からお願いいたします。

e-ケアタウンふじさわ 実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本

e-ケアタウンプロジェクト

—看護と介護がゆきわたり、安心して暮らせるまちづくりのために—

健康な人、健康に不安がある人、障害をもつ人、子どもからお年寄りまで、すべての人が自分の暮らしたい場所で、安心して生活していけるまちづくりをしたい。

その思いを実現するために、e-ケアタウンプロジェクトが始まります。

健康を維持したい方、看護や介護などのケアが必要な方と、そのご家族の方、ケアを提供する専門スタッフの方、それぞれの立場の方々を支え、より質の高い看護と介護のゆきわたるまちにしていけるために、IPv6を用いた最新のインターネット技術や新しく開発された情報機器といった、さまざまなIT(情報通信技術)を積極的に取り入れていくことが、このプロジェクトの大きな特徴です。それは、どんなふうに暮らしを変えていくことができるのでしょうか。また、そのとき気をつけていくべきことは何でしょうか。

プロジェクトを進めるe-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムは、次のように考えています。

よりゆたかなコミュニケーションを

充実したケアのためには、ケアを受けるご本人、ご家族、ケアスタッフなど専門家の方々のコミュニケーションがとても大切です。

e-ケアタウンプロジェクトでは最先端のITを取り入れることで、ご家族にご自分の体調を知らせるメッセージを、ボタンひとつで、いつでも気軽に送れるようにしたり、TV会議を利用して、専門家に健康上の相談ができるようにしたり、その他にもいろいろな仕組みをつくっていきたいと考えています。

また、健康な生活を維持するには、日ごろから、体力維持・向上のための自己管理をすることが必要です。

e-ケアタウンプロジェクトでは、ご家庭にいるご本人と、トレーナーなどのヘルスケア専門家の間で、健康データをやりとりし、専門家からのアドバイスが受けられる仕組みづくりを考えています。

より多くのケアの知識を得られるように

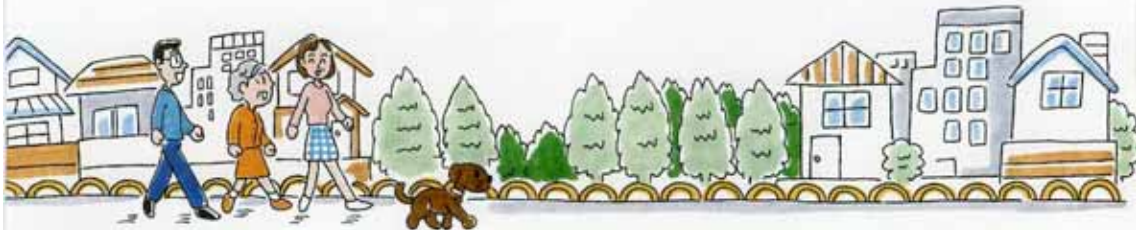
病気になる時、どのようなケアが受けられるのか。このことには、どなたも高い関心をお持ちのことでしょう。

e-ケアタウンプロジェクトでは、インターネットを利用して、いつでも、誰でも、ケアに関する知識を得られるようにしていきたいと考えています。

プライバシーを大切に

ケアについて相談するときには、ケアを受ける方の家庭や生活に関する情報を、ケアの専門家に開示することが必要になります。けれども、こうした個人情報(プライバシー)は、伝えたい相手以外には知られたくないものです。安心できるケアを受けるためには、まず、ケアを受ける方が、ご自分の情報を誰に伝えるかをコントロールできるようにすることが大切でしょう。

e-ケアタウンプロジェクトでは、ケアを受ける方の個人情報を守りながら、必要な相手には、安全に情報を伝えるための仕組みづくりを目指しています。



プロジェクト全体説明 (3/4)

e-CARE
Fujisawa

e-ケアタウンプロジェクトの計画は、まだ試験段階です。これから、実際の生活によりよく役立てていただけるように、市民モニターとして参加して下さる方々から、体験した上でのご意見を聞かせていただきます。今年度は、**6つのプログラム**を用意しました。



1 e-ヘルスアッププログラム

トレーナーとの情報交換をインターネットで行い、ご自宅でトレーニングが手軽に、継続的に行える環境をつくるためのプログラムです。

インターネットにつながった自転車エルゴメーターを、モニターのご自宅に設置させていただきます。



2 e-ファミリーケアプログラム

高齢者の方の健康状態や活動のようすを、ご家族の方が離れていても確認でき、互いに安心して暮らすことのできる、新しいファミリーケアのためのプログラムです。

高齢者の方ご本人から、「元気です」といったメッセージを送るための機器などを用意します。



3 e-介護プログラム

高齢者の方とご家族、ケアスタッフが、IT機器を利用して情報交換を行い、コミュニケーションを高めることで、より充実したケアを実現させるためのプログラムです。

TV会議で、生活、介護に関するアドバイスをお伝えするといったことなども行います。



プロジェクト全体説明 (4/4)



4 e-専門家スキルアップ講座プログラム

インターネットを利用し、ホームヘルパー2級の方のスキルアップを目的とした講座を開講するプログラムです。
マルチアングルによるビデオ学習のほか、遠隔講義、技術実習を含む、計16時間の講座を受講されるモニターと、ビデオ学習のみを希望されるモニターの二種類があります。



5 e-市民健康講座プログラム

インターネットを利用した、市民健康講座を開講し、役に立つ情報をお伝えしていくためのプログラムです。
平成14年度は、開講準備として、ニーズ調査を行い、ご希望の方に試作ビデオ教材を配信します。将来的に、藤沢市の生涯学習大学との連携も計画されています。



6 e-ケア情報セキュリティプログラム

在宅ケアを受けられる方の個人情報を保護するとともに、いくつかの職種にわたるケアスタッフ間の情報共有を進めていくためのプログラムです。最新の技術を用い、安全・確実に、必要な人だけが個人情報の共有ができる仕組みをつくります。また、個人からの安心な情報提供を可能にしていきます。

実施組織：e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本
お問い合わせ先：慶應義塾大学 SFC研究所内
e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口
Tel. 0466-49-3618
Fax. 0466-49-3622
e-mail: info@e-care-project.jp
受付時間：月曜日～金曜日 (10:00～12:00/13:00～17:00)

e-ケアタウンふじさわ

e-ヘルスアッププログラム

～運動による健康維持・管理のために～

「e-ヘルスアッププログラム」は、中高年の方を対象とし、運動による健康維持・管理に役立つようインターネットを利用した「遠隔トレーニング」を実現するためのものです。

これまで、専門のトレーナーの指導を受けるためにはトレーナーがいるフィットネスクラブなど、特定の場所に通う必要がありました。

このプログラムでは、インターネットを介してトレーナーと利用者をつなぐため、時間や場所などの制約を受けずにトレーニングに取り組むことができます。

モニターの方の自宅には、自転車エルゴメーター(Combi社 エアロバイク™ ai)と呼ばれる機器を設置し、光ファイバーによる100Mbpsの専用回線でトレーナーに運動量などの情報を送れるようにします。



モニターの方は、いつでも好きな時間に自宅でトレーナーの指示によるトレーニングメニューで体力づくりに取り組むことができます。

なお、このプログラムでやりとりされる個人情報は最新の仕組みで保護されており、安心してモニターに参加することができます。

使用機器 そのほか



モニターの方は1日20分程度、自転車エルゴメーター(Combi社 エアロバイク™ ai)を漕いでいただきます。(運動の強度・時間はモニター期間中にトレーナーとの個別相談で決定されます。)

トレーナーから送信される、トレーニングメニュー情報を表示するパソコンは、プログラム実施期間、実証コンソーシアムからモニターご本人に貸与いたします。

エアロバイク™ ai 製品仕様

重量 38.5kg
消費電力 30w
適応身長 140cm ~ 180cm
適応体重 135kg以下

(仕様は予告なく変更されることがあります)

<注意>

これらは医療ではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医に相談してください。



e-ヘルスアッププログラム (2/2)

《期間》

実施期間: 2003年1月～2003年3月予定
モニター募集期間: 2002年9月より開始
(定員となり次第、締め切らせていただきます。)

《募集人数》

40歳以上の健康な方 10名

《条件》

1. 藤沢市在住の戸建にお住まいの方で、光回線の敷設にご協力いただける方。
(マンションなどの集合住宅の場合、光回線導入には管理組合による敷設許可・合意が必要となります。このため今回のモニターは、戸建にお住まいの方に限らせていただきます。)

2. プログラムに関心があり、モニターを継続する意思のある方。
3. 年齢40歳以上の健康な方(性別不問)で、健康維持・向上に取り組む熱意をお持ちの方。
4. トレーニング情報を研究目的に利用することを承認いただける方。
5. 適宜行われるアンケートなどの調査にご協力いただける方。

注意事項

- 本プロジェクトでは、事前に光回線をモニター宅に敷設させていただきます。
光回線敷設の可否については参加条件をご了承していただけた方から順に調査をいたします。回線敷設が困難と判断された場合には、残念ながらモニターになっていただくことができません。
- モニターの方には、実証コンソーシアムから薄謝をお渡しいたします。
- パソコンその他の機器類は、各プログラムの実施期間中、貸与いたします。これらの機器は、プログラム実施期間中、プログラムに支障のないかぎり、ご自由にお使いいただけます。(ただし、その使用にかかる一切の費用はモニターの方に負担していただけます。)
- 各プログラムは医療行為としての診断や治療を行うも

- のではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医にご相談ください。
- 個人情報の保護については十分な配慮をいたします。
得られたデータは、このプロジェクト以外には使用いたしません。また研究結果の公表の際には、モニター個人を特定できるような記述はいたしません。
- モニターを中止したい場合は、実証コンソーシアムにお申し出下さい。こちらで用意した書類に、プログラム名、住所、氏名をご記入いただけます。
この申し出によって、モニターの方が不利益をこうむることはありません。機器類および回線は順次回収・撤去させていただきます。

モニター希望の方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。
後日、詳しい説明書・同意書を持参して担当者がお宅まで伺います。

実施組織: e-ケアタウンふじさわ 実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本
お問い合わせ先: 慶應義塾大学 SFC研究所内 e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口
Tel. 0466-49-3618
Fax. 0466-49-3622
e-mail. info@e-care-project.jp

受付時間: 月曜日～金曜日 (10:00～12:00 / 13:00～17:00)

e-ケアタウンふじさわ

e-ファミリーケアプログラム

～きめ細やかなケアのために～

「e-ファミリーケアプログラム」は、モニターの方の健康状態や活動のようすを、ご家族にお知らせしたりメッセージをお届けしたりする仕組みをつくり、安心できる暮らしを実現するためのものです。そのために、4つの機器を用意しました。「元気コール」「ベッド・センサー」「照度計センサー」「万歩計」といった機器は、インターネットにつながっていて、得られた情報を、モニターから離れたところにいる人にも伝えることができるようになっています。（ただし今回のプログラムでは、無線機器を使用する関係で、モニターの方が情報を伝えられる場所は市内の一部地域となります。）機器の使用法はとてもかんたんです。これらを使うことで、モニターご本人の健康状態や活動のようすを、家族の方が今まで以上に知ることができる



ようになり、よりきめの細かいケアをしていくことが可能になるかを確かめたいと、e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムは考えています。なお、このプログラムでは個人情報保護の最新の仕組みを使用しますので、安心してモニターに参加することができます。

使用機器 そのほか

元気コール

かんたんなメッセージを送るためのボタンが3つあります。たとえば、「元気で」というメッセージを、モニターの方からご家族に送ることができます。体調がわかることで、お互いに安心できるようにするための機器です。



万歩計

どれくらい歩いているかを決められた人に自動的に伝え、データが記録できるように工夫された万歩計を使います。常に身につけるようにしてください。



照度計センサー

照度計はモニターの方の部屋に設置いたします。その部屋の明るさが伝えられ、就寝や起床のパターンがわかります。モニターの方が特別な操作をする必要はありません。

ベッド・センサー

薄いベッド・センサーをベッド（またはふとん）に敷いて使用します。モニターの方の心拍や呼吸などを伝えます。



<注意>

これらは医療ではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医に相談してください。

ご家族が情報を受け取るために必要なパソコンは、プログラム実施期間、実証コンソーシアムから貸与いたします。



e-ファミリーケア (2/2)

《期間》

実施期間:2003年1月~2003年3月予定
モニター募集期間:2002年9月より開始
(定員となり次第、締め切らせていただきます。)

《募集人数》

65歳以上の高齢者の方を含む家族 10世帯

《条件》

1. 藤沢市在住の戸建にお住まいの方で、光回線の敷設にご協力いただける方。
(マンションなどの集合住宅の場合、光回線導入には管理組合による敷設許可・合意が必要となります。このため今回のモニターは、戸建にお住まいの方に限らせていただきます。)

2. プログラムに関心があり、モニターを継続する意思のある方。
3. 65歳以上の高齢者(性別不問)で、20歳以上の成人と同居されている方、または近く(市内)に家族、親戚、親しい方がいらっしゃる方。
4. 「1」から「3」の条件をみたくす方で、さらに以下の条件にも合う方。
 - a) かんたんな機器の使い方がわかる方。
 - b) 外出や、日常生活に重大な支障のない方。
 - c) 適宜行われるアンケートの記入、または聞き取り調査に応じることのできる方。
 - d) 得られたデータを、今回の研究目的に利用することを承認していただける方。

注意事項

- 本プロジェクトでは、事前に光回線をモニター宅に敷設させていただきます。
光回線敷設の可否については参加条件をご了承していただけた方から順に調査をいたします。回線敷設が困難と判断された場合には、残念ながらモニターになっていただくことができません。
- モニターの方には、実証コンソーシアムから薄謝をお渡しいたします。
- パソコンその他の機器類は、各プログラムの実施期間中、貸与いたします。これらの機器は、プログラム実施期間中、プログラムに支障のないかぎり、ご自由にお使いいただけます。(ただし、その使用にかかる一切の費用はモニターの方に負担していただきます。)
- 各プログラムは医療行為としての診断や治療を行うも

- のではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医にご相談ください。
- 個人情報の保護については十分な配慮をいたします。得られたデータは、このプロジェクト以外には使用いたしません。また研究結果の公表の際には、モニター個人を特定できるような記述はいたしません。
- モニターを中止したい場合は、実証コンソーシアムにお申し出下さい。こちらで用意した書類に、プログラム名、住所、氏名をご記入いただけます。この申し出によって、モニターの方が不利益をこうむることはありません。機器類および回線は順次回収・撤去させていただきます。

モニター希望の方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。
後日、くわしい説明書・同意書を持参して担当者がお宅まで伺います。

実施組織: e-ケアタウンふじさわ 実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本
お問い合わせ先: 慶應義塾大学 SFC研究所内 ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口
Tel. 0466-49-3618
Fax. 0466-49-3622
e-mail. info@e-care-project.jp
受付時間: 月曜日~金曜日 (10:00~12:00 / 13:00~17:00)

e-ケアタウンふじさわ

e-介護プログラム

～より高度な介護の実現のために～

「e-介護プログラム」は、高齢の方を対象にしたケアを、より充実したものにしていくためのものです。このプログラムでは「元気コール」「パッド・センサー」「照度センサー」「パソコン」の4つの機器を使っています。

「元気コール」「パッド・センサー」「照度センサー」といった機器は、インターネットにつながっていて、離れたところにいるご家族に、モニターご本人の健康状態や活動の様子についての情報を伝えることができます。このようにして、今までよりも多くの情報が伝えられ、よりよい介護につながる仕組みづくりをしていきたいと、e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムは考えています。

また、「パソコン」は、介護に関するマルチメディア情報をお伝えしたり、インターネット会議を開いて、実証コンソーシアムのスタッフから、生活、介護に



関するアドバイスをさしあげる時に必要です。このようにしてお伝えする情報も、ぜひ役立てていただきたいと思います。

なお、このプログラムでは個人情報保護する最新の仕組みを使用しますので、安心してモニターに参加することができます。

使用機器 そのほか

元気コール

かんたんなメッセージを送るためのボタンが3つあります。たとえば、「元気です」というメッセージを、モニターご本人からご家族やケアスタッフの方に送ることができます。体調がわかることで、お互いに安心できるようにするための機器です。



照度計センサー

照度計はモニターの方の部屋に設置いたします。その部屋の明るさが伝えられ、就寝や起床のパターンがわかります。モニターの方が特別な操作をする必要はありません。

<注意>

これらは医療ではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医に相談してください。

パッド・センサー

薄いパッド・センサーをベッド（またはふとん）に敷いて使用します。モニターの方の心拍や呼吸などを伝えます。



e-介護マルチメディア情報

最新の介護に関する情報を、インターネットを利用して提供します。

インターネットTV会議

モニターの方の自宅とe-ケア・スタジオを結び、高齢者および家族の生活、介護についてアドバイスをを行います。



パソコンは、プログラム実施期間、実証コンソーシアムから貸与いたします。



e-介護プログラム (2/2)

《期間》

実施期間：2003年1月～2003年3月予定
モニター募集期間：2002年9月より開始
(定員となり次第、締め切らせていただきます。)

《募集人数》

介護認定で「要支援」と認定された方(5名)と、
その同居家族の方。

《条件》

1. 藤沢市在住の戸建にお住まいの方で、光回線の敷設にご協力いただける方。
(マンションなどの集合住宅の場合、光回線導入には管理組合による敷設許可・合意が必要となります。このため今回のモニターは、戸建てにお住まいの方に限らせていただきます。)
2. プログラムに関心があり、モニターを継続する意欲のある方。

3. 介護認定で「要支援」と認定された高齢者の方(性別不問)、およびその同居家族。
4. 「1」から「3」の条件をみたくす方で、さらに以下の条件をみたくす方。
 - a) インターネットの接続、パッド・センサー、照度計、TV会議システムの設置および情報の収集にご協力いただける方。
 - b) 緊急性の高い病気がない方。
 - c) プログラム期間中のインタビューにご協力いただける方。
 - d) 得られたデータを、今回の研究目的に利用することを承認していただける方。

注意事項

- 本プロジェクトでは、事前に光回線をモニター宅に敷設させていただきます。
光回線敷設の可否については参加条件をご了承していただけた方から順に調査をいたします。回線敷設が困難と判断された場合には、残念ながらモニターになっていただくことができません。
- モニターの方には、実証コンソーシアムから薄謝をお渡しいたします。
- パソコンその他の機器類は、各プログラムの実施期間中、貸与いたします。これらの機器は、プログラム実施期間中、プログラムに支障のないかぎり、ご自由にお使いいただけます。(ただし、その使用にかかる一切の費用はモニターの方に負担していただきます。)
- 各プログラムは医療行為としての診断や治療を行うも

- のではありません。また、使用機器は、急激な体調変化を検知する緊急通報の機能を備えておりません。現在行っている治療などは継続していただき、体調が悪い場合には、必ずかかりつけ医にご相談ください。
- 個人情報の保護については十分な配慮をいたします。
得られたデータは、このプロジェクト以外には使用いたしません。また研究結果の公表の際には、モニター個人を特定できるような記述はいたしません。
- モニターを中止したい場合は、実証コンソーシアムにお申し出下さい。こちらで用意した書類に、プログラム名、住所、氏名をご記入いただけます。
この申し出によって、モニターの方が不利益をこうむることはありません。機器類および回線は順次回収・撤去させていただきます。

モニター希望の方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。
後日、くわしい説明書・同意書を持参して担当者がお宅まで伺います。

実施組織：e-ケアタウンふじさわ 実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本
お問い合わせ先：慶應義塾大学 SFC研究所内 e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口
Tel. 0466-49-3618
Fax. 0466-49-3622
e-mail. info@e-care-project.jp
受付時間：月曜日～金曜日 (10:00～12:00 / 13:00～17:00)

e-専門家スキルアップ講座プログラム(1/2)

e-CARE
Fujisawa

e-ケアタウンふじさわ

e-専門家スキルアップ講座プログラム

～スキルをさらに高めたい、2級ホームヘルパーの方のために～

この講座プログラムは、e-ケアタウンプロジェクトの一部門として、本年度開設される研修システムであり、〈実技研修コース〉、〈ビデオ学習コース〉の2つが用意されています。これらはヘルパー2級資格をもち、現在藤沢市内で活動している方を対象に、ご自宅でのインターネットを利用したビデオ学習、さらには慶應義塾大学 看護医療学部内で行われる遠隔講義、対面実技などを通し、ヘルパーとしてのスキルアップに役立てていただくためのプログラムです。本年度は、〈実技研修コース〉は6名、〈ビデオ学習コース〉は定員制限なしで、ホームヘルパー2



級資格を持つモニターの方を、広く募集いたします。

なお、くわしい説明は

<http://www.e-care-project.jp>をご覧ください。

プログラム内容

1. 実技研修コース

このコースの全プログラム内容は、以下の通りです。

- 1) インターネットにより配信される、1シリーズ4本のビデオ視聴 2時間
- 2) 最新のインターネット技術(IPv6)を用い、e-ケア・スタジオと慶應義塾大学 看護医療学部の教室を結んで行う遠隔講義 2時間
- 3) 対面での実技 2時間
- 4) 1)～3)をふまえた、課題レポート 作成時間 10時間

〈受講方法〉

- 1 上記プログラム内容のうち、1)、4)は、インターネットを利用して、ご自宅でモニターの方が自由に決めた時間に受講していただくことができます。
- 2 上記プログラム内容のうち、2)、3)は、藤沢市内にあり、e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアムに加わっている慶應義塾大学 看護医療学部内の教室ならびに実習室に来ていただき、講義や実技講座を受講することになります。その際、ご自宅から慶應義塾大学までの交通費は、e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム
- 3 4)の課題レポート作成にあたっては、インターネット上で、看護医療学部の担当教員による指導を受けることができます。
- 4 全プログラムを受講され、4)のレポートを提出された方は、この〈実技研修コース〉の修了認定証をお受け取りください。また、プログラム内容やその効果についてのインタビューにご協力ください。

専門家スキルアップ講座〈実技研修コース〉の修了認定証

全プログラムを受講された方には、実証コンソーシアムより、e-専門家スキルアップ講座〈実技研修コース〉の修了認定証が授与されます。これは、国や都道府県などによる資格認定証とは異なり、e-ケアタウンプロジェクトの当講座に参加し、研修プログラムを修了されたことを証明するものです。



e-専門家スキルアップ講座プログラム(2/2)

<p>(期間) 実施期間:2003年2月予定 モニター募集期間:2002年11月より開始 (定員となり次第、締め切らせていただきます。)</p> <p>(募集人数) ホームヘルパー2級資格を持ち、ヘルパーとしての業務に携わっている方 6名</p> <p>(条件) 1. 藤沢市在住でヘルパー2級の資格をお持ちの方。 2. プログラムに関心があり、モニターを継続する意思のある方。 3. プログラム開始以前に、ご自宅に、ADSL導入、または光回線敷設をなさっている方。</p>	<p>4. ご自宅にPC(パーソナルコンピュータ)をお持ちで、操作できる方。なお、受講のために必要なPCの仕様条件については、「受講用のPCの仕様条件、および必要な周辺機器など」をご覧ください。</p> <p>5. 慶應義塾大学看護医療学部で行われる講義ならびに実習に参加できる方。</p> <p>6. 修了後の講座プログラムの内容・効果に関するインタビューにご協力いただける方。</p> <p>(申し込み方法) 〈実技研修コース〉のモニター希望の方は、e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口までご連絡ください。 くわしい説明書・同意書を送らせていただきます。</p>
---	---

(受講用のPCの仕様条件、および必要な周辺機器など)

<p>必要な項目は以下の通りです。5)のADSL(または光回線)によるインターネット接続もご準備ください。</p> <p>1) Windows2000/Me/XPのいずれかで動作していること。(Macintosh利用者の場合は、別途、実証コンソーシアムにご相談ください。)</p> <p>2) Windows Media PlayerおよびRealPlayerを動作させるため、以下の最小構成をみたしていること。(これ以下の構成では滑らかに再生できない場合があります。)</p> <p>最小構成 CPU: Pentium 500MHz以上、 メモリ 128MB以上 HDD空き容量 500MB程度</p>	<p>推奨構成 CPU: PentiumIII 800MHz以上、 メモリ 256MB以上 HDD空き容量 500MB程度</p> <p>3) 1024x768 以上の解像度を持つディスプレイを有すること。</p> <p>4) スピーカー等の音声デバイスを有すること。</p> <p>5) ADSL(または光回線)によるインターネットへのアクセスができること。</p>
---	---

(注意事項)

<p>■ ビデオコンテンツの受信にかかわる通信費用として、プロバイダー使用料、回線使用料などが必要です。これは、モニターの方にご負担いただけます。</p> <p>■ ビデオコンテンツの受信によって、お持ちのパソコンに不具合が起きることもあるかもしれません。これについての補償はございませんのでご了承ください。</p> <p>■ 個人情報の保護については、十分な配慮をいたします。得られた個人データは、このプロジェクト以外には使用いたしません。</p>	<p>また、研究結果の公表の際には、モニター個人を特定できるような記述はいたしません。</p> <p>■ モニターを中止したい場合は、e-mail:info@e-care-project.jp宛てに、中止を希望されることを、メールでお知らせください。その後、こちらでお送りする書類に、コース名、住所、氏名をご記入いただけます。この申し出によって、モニターの方が不利益をこうむることはありません。</p>
---	---

II ビデオ学習コース

この「ビデオ学習コース」も、藤沢市内在住のホームヘルパー2級資格をもつ方を対象としています。プログラム内容は、以下の通りです。

インターネットにより配信される1シリーズ4本のビデオ視聴 2時間

(申し込み および 受講方法)

<p>■ 実施時期は、2003年2月予定です。</p> <p>■ http://www.e-care-project.jp にアクセスし、受講方法をご確認の上、モニター登録し、ビデオをご視聴ください。</p> <p>■ (受講用のPCの仕様条件、および必要な周辺機器など) (注意事項) は、〈実技研修コース〉と同じです。ただし、こちらのコースでは、モニター中止の手続き</p>	<p>は不要です。</p> <p>■ ビデオ視聴直後のWeb上でのアンケート、その後配信される電子メールによるアンケートにご協力ください。</p> <p>ご質問は、e-mail: info@e-care-project.jpにお寄せください。 なお、〈ビデオ学習コース〉に、修了認定証はありません。</p>
--	---

実施組織: e-ケアタウンふじさわ 実証コンソーシアム
藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・慶應義塾大学・NTT東日本
お問い合わせ先: 慶應義塾大学 SFC研究所内 e-ケアタウンふじさわ問い合わせ窓口
Tel. 0466-49-3618
Fax. 0466-49-3622
e-mail. info@e-care-project.jp
受付時間: 月曜日～金曜日 (10:00～12:00 / 13:00～17:00)